

<研究名称>

胆道癌患者における術前の客観的栄養指標が術後合併症発症・生命予後に与える影響に関する検討

<実施責任者及び実施担当者>

実施責任者及び担当者 旭川赤十字病院 外科 医員 栗原 尚太

<研究期間>

実施許可日～2025年12月31日

<診療・研究の目的>

胆道癌患者における術前の客観的栄養指標と術後合併症発症率、生命予後との関連を検討することで、術後合併症発症予測因子、予後予測因子を探索する。さらに術前栄養療法の介入の必要性がある患者を科学的根拠に基づき適切に抽出することが可能になることを目的とする。

<実施内容（方法）>

2017年1月から2022年12月までに胆道癌と診断され当科にて根治手術を施行した患者20例を対象とする。腹膜播種などで試験開腹術のみで終了した患者、消化管バイパス術など緩和手術として施行した患者、その他、実施責任者が研究対象者として不適当と判断した患者は除外する。

本研究は既存の情報を用いた後方視的な症例対照研究、合併症発症予測因子、予後予測因子を探索する探索的研究である。

<危険性（副作用）等>

本研究は既存の情報を用いて行う研究であるため、研究対象者には特に不利益は発生しないと考えられる。

<倫理上問題になると考えられる事項>

特になし

<問い合わせ先>

当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ  
〒070-8530

旭川市曙1条1丁目1番1号

旭川赤十字病院 TEL：0166-22-8111、FAX：0166-24-4648